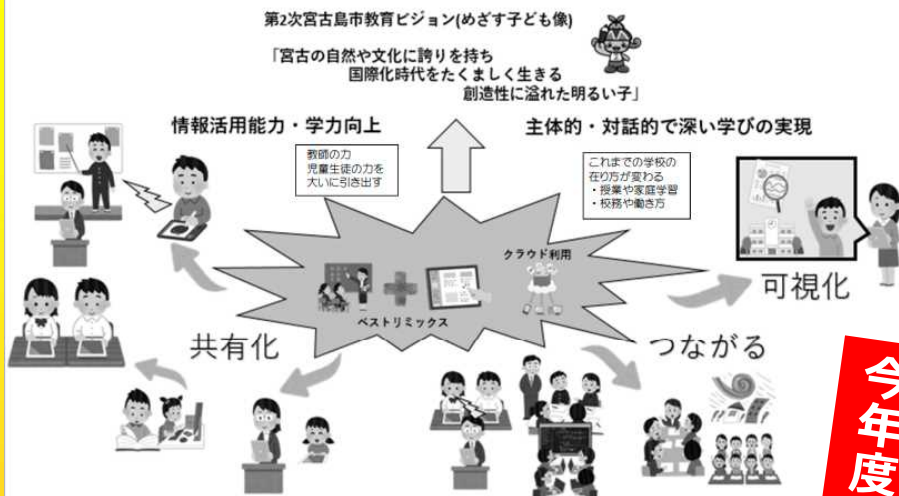




宮古島市のGIGAスクール構想実現イメージ ～何が変わるの??～



一人一台 GIGAスクール構想 教育情報化

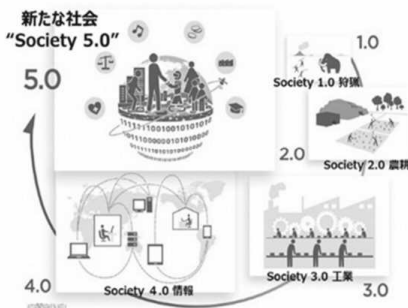
今年度末整備

なぜGIGAスクール構想が必要なの??

これから訪れるSociety5.0時代には「経済発展と社会的課題の解決を両立するため、イノベーションにより新たな価値を創造すること」が可能とする人材が必要となります。

そのため学校教育においても、IoT等先端技術を活用し課題解決を図ることのできる能力を養うことが求められています。

※Society5.0：狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続くような新たな社会を生み出す変革を科学技術イノベーションが先導していく、という趣旨で「第5期科学技術基本計画」において政府が提唱した概念のこと。

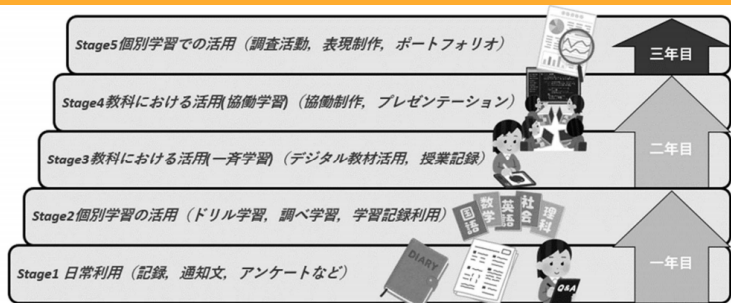


ゆいのひろば11月号より

GIGAスクール構想

○児童生徒一人一台タブレット端末を貸与(主に授業での活用)
○高速無線LAN環境を整備
○ICT支援員の増員
を進めていきます。
授業者と学習者のための取組になります。

GIGAスクール構想

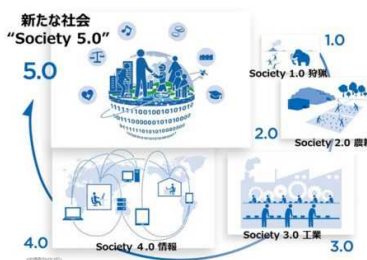


一人1台を使って
学習者に一人1台を与え、端末に個人でログインし、クラウド上のアプリケーションを活用していきます。ご家庭の端末でも、制作過程の続きや、ドリル学習等が可能になります。情報セキュリティに関する知識や能力の向上が必要です。

一人1台を使って

現在在中小学校に教育の情報化に關しては、機器の整備が進んでいます。昨年度までに全教室に電子黒板(大型提示装置)が入っており、「教材等を課題把握のために提示」や「学習者の発表による書き込み」などで利用されています。保護者の皆様におかれましては、今までの授業方法と異なり、こうした機器が授業の中で効果的かつ効率的に活用されていることを授業参観時にご覧になられたことでしょうか。そして今年度「GIGAスクール構想」が全国自治体で進んで行われていきます。全小中学校児童生徒一人一台のタブレット端末整備になります。現在の情報社会に加え、この社会で対応できる社会人になれるよう、学校において情報機器を授業の中で活用できる力(他にも情報を扱う力が必要になってきます)を向上させるには、授業者の指導力向上も必須になります。図の一番下にあるように、授業者と学習者の活用段階を導入年度に伴って設定し、情報活用能力を向上させる必要があります。

Society 5.0とは?
現在在は4.0と5.0の間の社会といわれています。情報社会と超スマート社会の間にあります。昔前では実現不可能と思われていた音声入力や多言語通訳、身やドローン、無人バスなどがあります。しかしこれらは今の社会の中で現実化されている物もあります。ビックデータ等を利用して世の中を動かしていく。Society 5.0の社会です。今の子ども達が成長してこの社会の中心、担い手になるわけですが、そのうち世の中でも主役は「一人」でなくてはならないのです。学校教育においても情報機器等を積極的に扱っていくことが必要になります。



今後、宮古島市のGIGAスクール構想に関する情報を発信していきます。

導入端末
Lenovo Chromebook 2nd Gen / 11.6型タッチパネル / 電子ペン搭載 / ChromeOS

お問い合わせ先
宮古島市教育委員会
学務係・情報教育担当